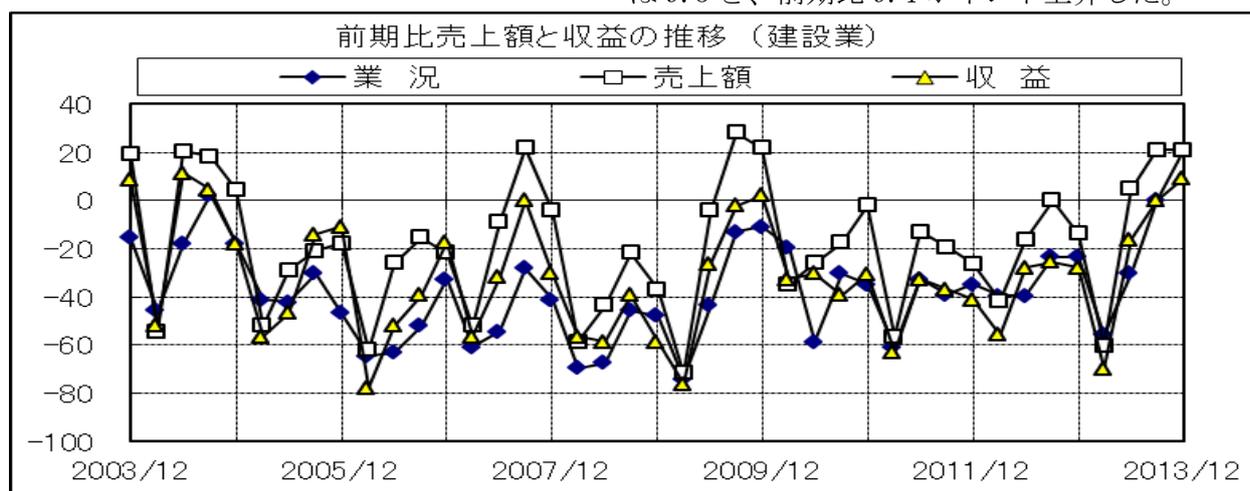


## 建設業 42 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

### □ 景 況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業 況	-30.2	-0.1	20.9	-21.0
売上額	4.7	21.0	20.9	-30.1
収 益	-16.3	-0.1	9.3	-39.5

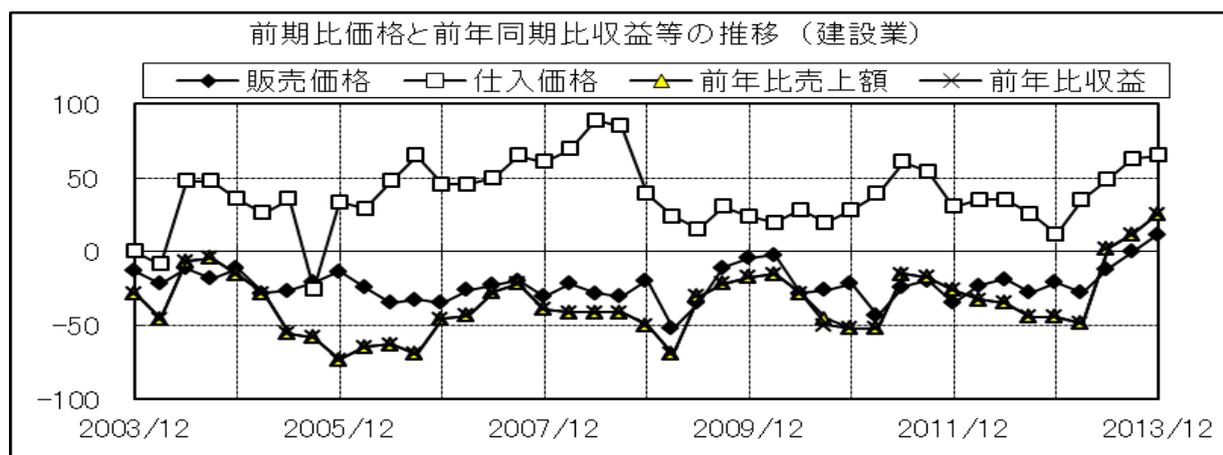
今期の業況判断DIは20.9と、前期比21.0ポイント上昇した。直近の10年では、2004年9月期以降初めてのプラス値となった。地区別のDIの水準は高い順に、様似、静内、広尾、えりも、三石・浦河が同率で続いた。前年（△23.3）比でも44.2ポイント上昇した。売上額判断DIは20.9と、前期比0.1ポイント下降した。収益判断DIは9.3と、前期比9.4ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
請負価格	-11.7	0.0	11.6	-16.3
仕入価格	48.9	62.8	65.2	48.9

請負価格判断DIはゼロ水準から、前期比11.6ポイント上昇した。仕入価格判断DIは65.2と、前期比2.4ポイントの上昇で価格上昇基調を強めた。請負、仕入価格は前年比でも32.6、53.6ポイントそれぞれ上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-11.6	14.0	20.9	-16.3
人手状況	-11.6	-23.3	-41.9	-18.6

残業時間判断DIは20.9と前期比6.9ポイント増加し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断DIは△41.9と、前期比18.6ポイント下降し、人手不足感をさらに強めた。

## □ 設備投資の動き

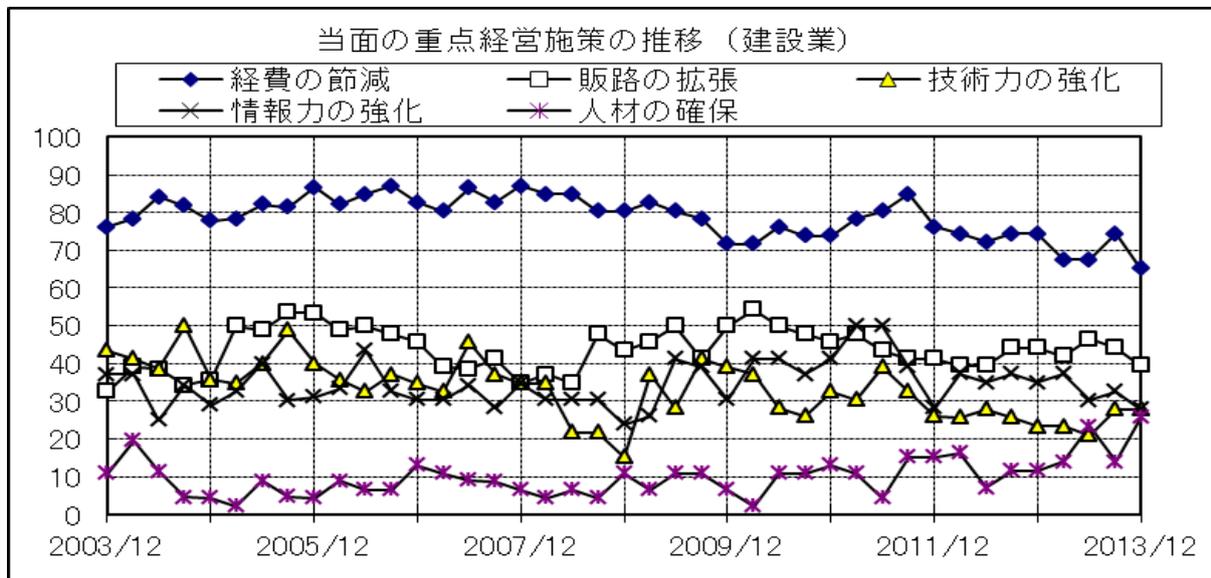
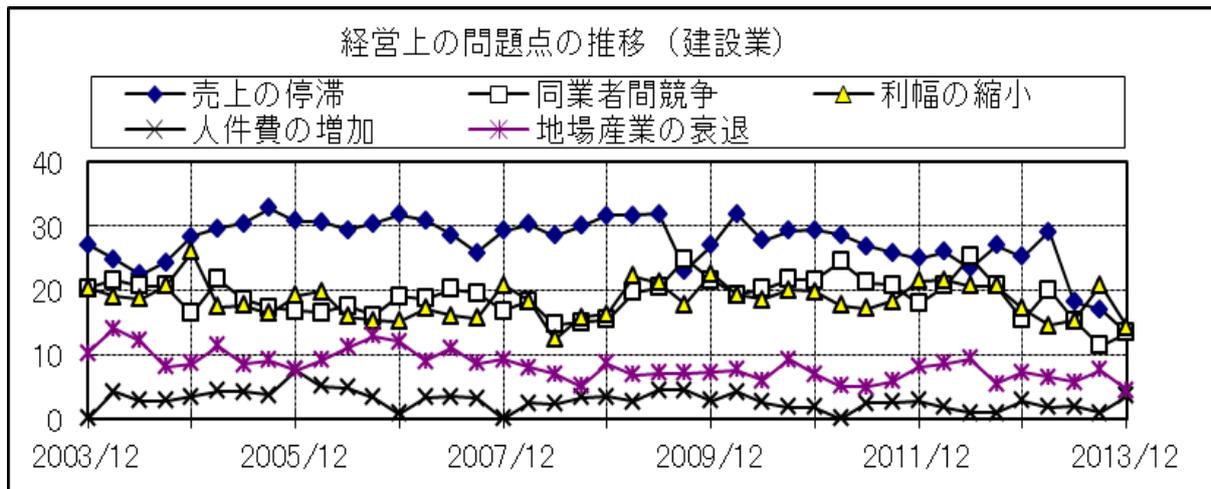
設備投資の充足感を示すD Iは、前期比横ばいの△20.9となった。

設備投資実施企業割合は25.6%と、前期比4.7ポイント上昇、前期の9社に対し11社の実施となった。来期の設備投資は、9社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」をトップに挙げ17.7%、「利幅の縮小」14.2%、次に「売上停滞減少」・「同業者との競合」が同率の13.3%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ65.1%、次いで「販路の拡張」39.5%、「情報力の強化」・「技術力の上昇」が同率の27.9%で続いている。「人材の確保」も25.6%と高い値を占めている。



## 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△21.0、今期比41.9ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D Iは△30.1と、今期比51.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D Iは△39.5と、今期比48.8ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D Iは△16.3と、今期比27.9ポイントの下降を見通している。

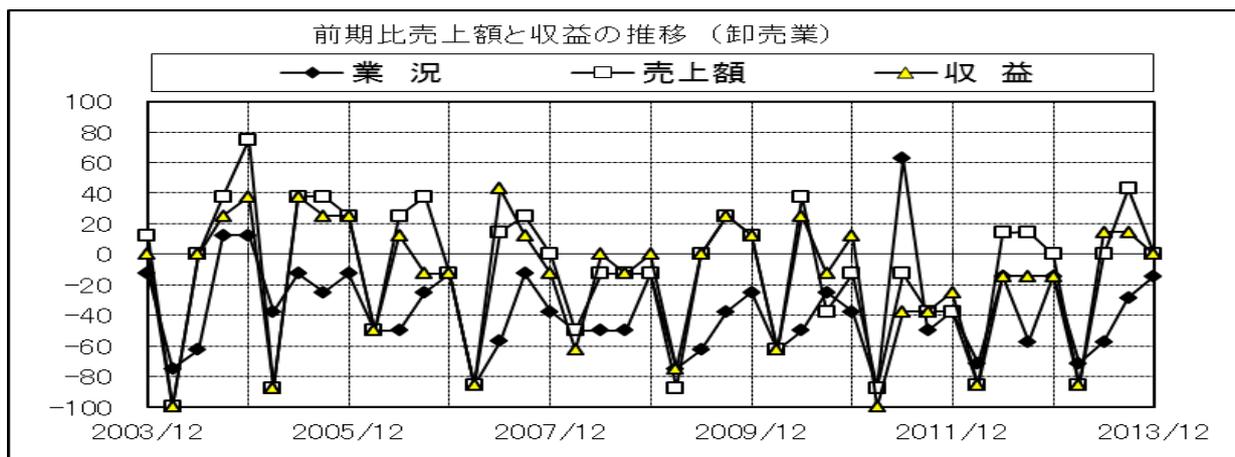
予想仕入価格判断D Iは48.9と、今期比16.3ポイントの下降を見通している。

## 卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-57.2	-28.6	-14.3	-71.5
売上額	0.0	42.9	0.0	-71.5
収益	14.3	14.3	0.0	-57.2

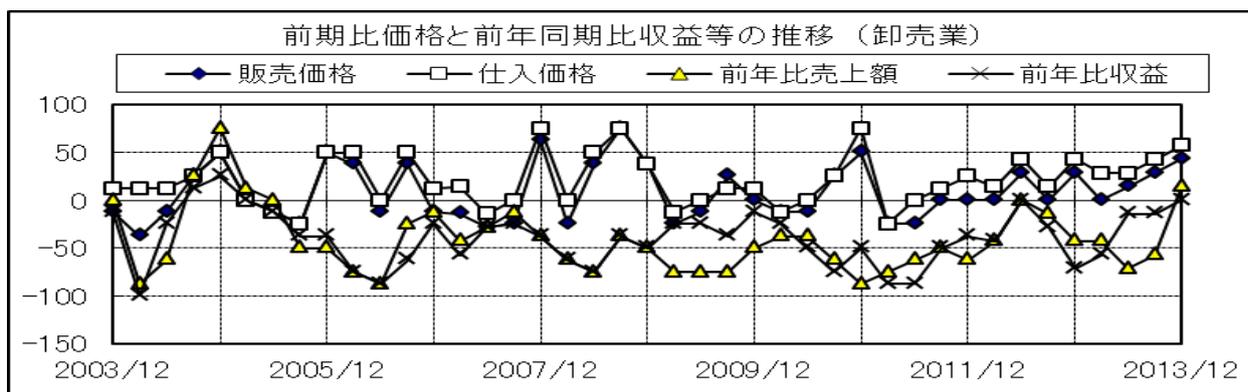
今期の業況判断DIは△14.3と、前期比14.3ポイントの上昇となった。地区別の水準は、三石・様似をトップに、静内、浦河と続いた。前年（△14.3）比では同様のポイントとなった。一方、売上額判断DI、収益判断DIはともにゼロ水準となり、前期比それぞれ42.9、14.3ポイントの下降となった。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	14.3	28.6	42.9	-14.3
仕入価格	28.6	42.8	57.2	-14.3

販売価格判断DI 42.9は、前期から14.3ポイント上昇した。仕入価格判断DI 57.2は、前期比14.4ポイント上昇した。業種別にみると、水産は販売、仕入価格ともに上昇し、食品は販売価格、仕入価格ともに横ばいとなった。販売、仕入価格は前年比14.3ポイントそれぞれ上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-14.3	-14.3	42.9	-42.9
人手状況	0.0	-28.6	-28.6	0.0

残業時間判断DIは42.9で前期比57.2ポイント上昇、残業時間「増加」企業の割合が、残業時間「減少」の企業割合を上回った。人手過不足判断DIは前期と同水準の△28.6で、人手不足感は継続された。

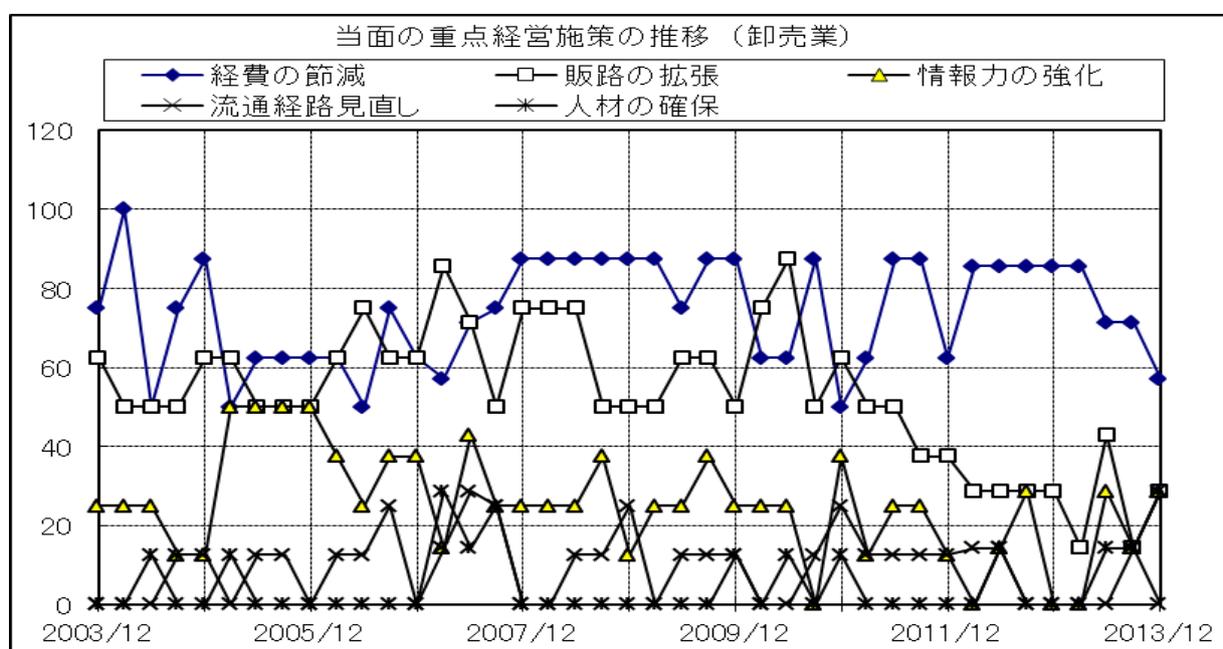
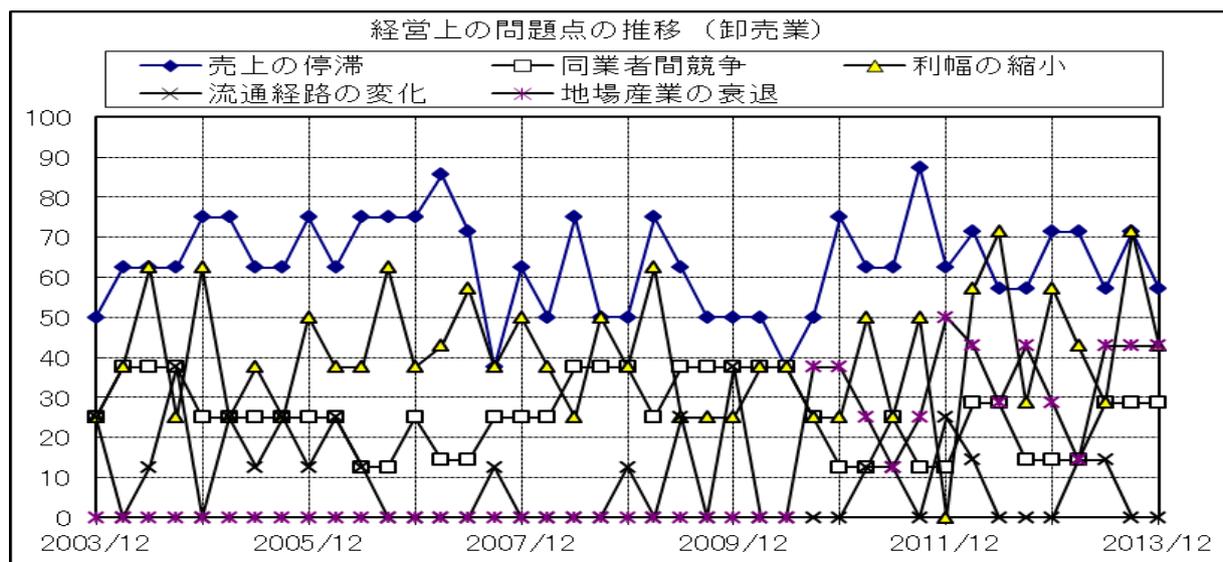
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは、前期△14.3 からゼロ水準へと上昇した。設備投資実施企業は、前期の2件から4件へ、来期の設備投資の予定は0件となった。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」57.1%、「利幅の縮小」・「地場産業の衰退」が同率の42.9%、「同業者との競合」・「取引先の減少」も同率の28.6%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ57.1%、次いで「販路の拡張」・「情報力の強化」、「人材の確保」が同率の28.6%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△71.5で、今期比57.2ポイントの下降を見通している。  
 予想売上額判断D Iは今期ゼロ水準から71.5ポイントの下降を見通している。  
 予想収益判断D Iは今期ゼロ水準から57.2ポイントの下降を見通している。  
 予想販売価格判断D Iは今期42.9から△14.3～57.2ポイントの下降を見通している。  
 予想仕入価格判断D Iは今期57.2から△14.3～71.5ポイントの下降を見通している。